

インストールガイド

IP アドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス

法的責任

本書は細心の注意をもって準備されています。誤りや欠落を見つけた場合には、お近くのAxisオフィスまでお知らせください。Axis Communications ABは、いかなる技術または印刷上の誤りについても一切責任を負わず、本製品およびマニュアルに予告なく変更を加える権利を留保します。Axis Communications ABは、市場性および特定目的との適合性に関する黙示的保証を含む(ただし、それらに限定されない)、本書の記載内容に関して、いかなる種類の保証もいたしません。Axis Communications ABは、本書の記載内容にしたがった機器の設置、性能、使用に関する間接的損害または結果的損害に責任も義務も負わないものとします。本製品は、その本来の目的でのみ使用してください。

知的財産権

Axis ABは、本書記載の製品に組み込まれた技術の知的財産権を保有しています。この知的財産権には、<http://www.axis.com/patent.html>に示される特許と米国や他の国々における追加特許または出願中の特許(ただし、これらに制限されるものではありません)が含まれる場合があります。

本製品には、ライセンスされたサードパーティー製のソフトウェアが含まれています。詳細については、本製品のユーザーインターフェースのメニュー項目 [About](製品情報) を参照してください。

本製品には、Apple Public Source License 2.0 (<http://www.opensource.apple.com/apsl/>を参照) の条項に基づいて、Apple Computer, Inc.のソースコード著作権が含まれています。ソースコードは、<http://developer.apple.com/darwin/projects/bonjour/>から利用いただけます。

商標

AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、ETRAX、ARTPEC、VAPIXは、スウェーデンおよびその他の国で登録されたAxis ABの登録商標です。その他、記載の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

Apple、Boa、Apache、Bonjour、Ethernet、Internet Explorer、Linux、Microsoft、Mozilla、Real、SMPT、QuickTime、UNIX、Windows、Windows Vista、WWWは、各所有者の登録商標です。JavaとすべてのJavaベースの商標およびロゴは、Oracleまたはその関連会社の商標または登録商標です。UPnP™は、UPnP™ Implementers Corporationの認証マークです。

SD、SDHC、SDXCは、米国またはその他の国におけるSD-3C, LLCの商標または登録商標です。miniSD、microSD、miniSDHC、microSDHC、microSDXCは、米国またはその他の国におけるSD-3C, LLCの商標または登録商標です。

HDMI™、HDMI High-Definition Multimedia Interface、ならびにHDMIのロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setupは、Wi-Fi Allianceのマークです。

サポート

技術サポートが必要になった場合は、Axisの販売代理店までお問い合わせください。ご質問にすぐにお答えできない場合は、お客様をお待たせしないように、お問い合わせ内容が販売店から適切な窓口へ送られます。インターネットに接続している場合は、以下を行うことができます。

- ユーザードキュメントとソフトウェアアップデートのダウンロード
- FAQデータベースを使用した、問題の解決方法の検索。製品、カテゴリー、フレーズで検索
- お客様専用のサポートページにログインすることによる、Axisのサポートスタッフへの問題の報告
- Axisのサポートスタッフとのチャット(一部の国のみ)
- Axisサポート: www.axis.com/techsup/

さらに詳しく:

Axisラーニングセンター (www.axis.com/academy) にアクセスしてください。役に立つトレーニング、Webセミナー、チュートリアル、ガイドを用意しています。

IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス

IPアドレスの割り当て

IPアドレスの割り当て

デフォルトのIPアドレス

Axis製品はイーサネットネットワーク上で使用するために設計され、アクセスにはIPアドレスが必要です。ほとんどのネットワークでは、DHCPサーバーを使用して自動的に接続デバイスにIPアドレスを割り当てています。ネットワークにDHCPサーバーが導入されていない場合、Axis製品は192.168.0.90をデフォルトのIPアドレスとして使用します。

Windows®での推奨方法

AXIS IP Utility および **AXIS Camera Management** を使用してネットワーク上のAxis製品を検出し、それらにWindows®のIPアドレスを割り当てることを推奨します。両方のアプリケーションとも無料で、この製品に同梱される **Installation and Management Software CD (インストールおよびマネジメントソフトウェアCD)** で入手できます。これらはまた、www.axis.com/techsup からダウンロードすることもできます。

AXIS IP Utility - デバイス1台から数台の小規模インストール向け


AXIS IP Utilityは、ネットワーク上のAxis製品を自動的に検出して表示します。また、手動で固定のIPアドレスを設定することができます。

Axis製品は、AXIS IP Utilityが動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント(物理サブネット)に接続されていることが必要です。

自動検出機能

1. Axis製品がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utilityを起動します。
3. ウィンドウにAxis製品が表示されたら、ダブルクリックしてウェブページを開きます。
4. パスワードの設定方法については、6 ページを参照してください。

IPアドレスの手動割り当て(オプション)

1. お使いのコンピューターと同一のネットワークセグメントで、利用可能なIPアドレスを入手します。
2. 一覧からAxis製品を選択します。
3. **Assign new IP address to selected device (選択したデバイスに新しいIPアドレスを設定)**  をクリックして、IPアドレスを入力します。
4. **Assign (割り当てる)** をクリックし、説明に従って続行します。
5. ウィンドウにAxis製品が表示されたら、ダブルクリックしてウェブページを開きます。
6. パスワードの設定方法については、6 ページを参照してください。

AXIS Camera Management - デバイス台数が多い、規模の大きなインストール向け

AXIS Camera Managementは、Axisネットワーク製品用の強力な設置および管理ツールです。このツールは自動的にデバイスのネットワークを検出し、IPアドレスを割り当て、パスワードを設定し、接続状態を表示し、ファームウェアのアップグレードを管理し、製品パラメータを構成することができます。一度に複数の製品のバッチ処理を実施できます。

IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス

IPアドレスの割り当て

自動検出機能

1. Axis製品がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Managementを起動します。
3. サーバーに接続します。


ネットワーク上のサーバーに接続するには、**Remote server (リモートサーバー)**を選択してドロップダウンリストからサーバーを選択するか、入力欄にIPまたはDNSアドレスを入力します。

お使いのコンピューター上で作動しているサーバーに接続するには、**This computer (このコンピューター)**を選択します。
4. **Log On (ログオン)** をクリックして現在のコンピューターのユーザーとしてログオンするか、**Log on as current user (現在のユーザーとしてログオン)** の選択を外し、ログオンするユーザー名およびパスワードを入力します。
5. 初めにAXIS Camera Managementを実行すると、ネットワーク上のAxis製品を自動的に検索します。手動で製品を検索するには、**Configuration (構成) > Add Devices (デバイスの追加)** を選択します。ソフトウェアは検出した製品のリストを表示します。

追加する製品を選択し、**Next (次へ)** をクリックしてから**Finish (終了)** をクリックします。
6. デバイスのリスト内で、製品のウェブページを開くためのアドレスをクリックします。
7. パスワードの設定方法については、6 ページを参照してください。

複数台のデバイスにIPアドレスを割り当てる

AXIS Camera Managementを利用すると、特定のIPアドレスの範囲を指定することにより、複数台のデバイスにまとめてIPアドレスを割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. IPアドレスを設定する複数のデバイス (異なるモデル同士でも可) をShiftキーを使って一覧から選択し、**Assign IP address to selected devices (選択したデバイスにIPアドレスを割り当てる)**  をクリックします。
2. **Device Maintenance (デバイスのメンテナンス)** ダイアログが表示されたら、**Yes (はい)** をクリックします。
3. **Assign the following IP address range (以下のIPアドレス範囲を割り当てる)** を選択し、デバイスが使用するIPアドレス範囲、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。**Next (次へ)** をクリックします。
4. 設定されるIPアドレスが**New IP Addresses (新しいIPアドレス)** の下に一覧表示されます。この一覧を編集するには、デバイスを選択して**Edit IP (IPを編集する)** をクリックします。
5. **Finish (終了)** をクリックします。

その他のオペレーティングシステムおよび方法

次のリストでは、IPアドレスの割り当てまたは検出に利用できるその他の方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

- **AVHSサービス接続** (すべてのオペレーティングシステム)。AVHSサービスに接続するには、サービスプロバイダーのインストールガイドを参照してください。最寄りのAVHSサービスプロバイダーについての情報や検索方法については、www.axis.com/hostingを参照してください。
- **UPnP™** (Windows®) コンピュータで有効になっている場合は、Axisネットワーク製品が自動的に検出され、Network/My Network Places (ネットワーク/マイネットワークプレイス) に追加されます。

IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス

IPアドレスの割り当て

- **Bonjour** (Mac OS X® 10.4以降) Bonjourに対応したブラウザで使用できます。ブラウザ (Safariなど) の Bonjourブックマークに移動し、リンクをクリックしてウェブページにアクセスします。
- **AXISダイナミックDNSサービス** (すべてのオペレーティングシステム) Axisが無償で提供するサービスで、Axisネットワーク製品をすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTPプロキシを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.netを参照してください。
- **ARP/Ping** (すべてのオペレーティングシステム) *ARP/Ping*を使用してIPアドレスを割り当てるを参照してください。コマンドの実行は、電源を接続してから2分以内に行う必要があります。
- **DHCPサーバー** (すべてのオペレーティングシステム) DHCPサーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのユーザーマニュアルを参照してください。

ARP/Pingを使用してIPアドレスを割り当てる

ARP/Pingを使用して、製品のIPアドレスを割り当てることができます。コマンドの実行は、電源を接続してから2分以内に行う必要があります。

1. コンピューターと同一のネットワークセグメントで、未使用の静的IPアドレスを入手します。
2. 製品ラベルに表示されているシリアル番号 (S/N) を見つけます。
3. コマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

Linux/Unix の構文

```
arp -s <IPアドレス> <シリアル番号> temp  
ping -l 408 <IPアドレス>
```

Linux/Unix の例

```
arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp  
ping -l 408 192.168.0.125
```

Windows の構文 (管理者としてコマンドプロンプトを実行するよう要求される場合があります)

```
arp -s <IPアドレス> <シリアル番号>  
ping -l 408 -t <IPアドレス>
```

Windows の例 (管理者としてコマンドプロンプトを実行するよう要求される場合があります)

```
arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00  
ping -l 408 -t 192.168.0.125
```

4. ネットワークケーブルが接続されていることを確認してから、電源を取り外してから再度接続し、製品を再起動します。
5. 製品からReply from 192.168.0.125:... (192.168.0.125からの回答:...) または類似の応答があった場合、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーを開き、ロケーション/アドレス欄にhttp://<IPアドレス>と入力します。

注意

- Windowsでコマンドプロンプトを開くには、**Start menu (スタートメニュー)**を開き、**Run/Search (プログラムの検索と実行)**欄にcmdと入力します。
- Windows 7またはWindows VistaでARPコマンドを使用するには、コマンドプロンプトのアイコンを右クリックし、**Run as administrator (管理者として実行)**を選択します。
- Mac OS Xでコマンドプロンプトを開くには、**Application > Utilities (アプリケーション > ユーティリティ)**から**Terminal utility (ターミナルユーティリティ)**を開きます。

IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス

Rootパスワードの設定

Rootパスワードの設定

Axis製品にアクセスするには、デフォルトの管理者ユーザーのroot用パスワードを設定する必要があります。この設定は、製品に初めてアクセスしたときに表示される**Configure Root Password (Rootパスワードの構成)** ダイアログで行います。

ネットワークの傍受を防御するため、暗号化されたHTTPS接続を介してrootパスワードを設定できます。これにはHTTPS証明書が必要です。HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) とは、ウェブブラウザとサーバー間でのトラフィックを暗号化するために使用されるプロトコルのことです。HTTPS証明書は暗号化された情報の受け渡しを確保します。

デフォルトの管理者ユーザー名であるrootは不変であり、これを削除することはできません。root用のパスワードを忘れてしまった場合、製品を工場出荷時の設定にリセットする必要があります。製品を工場出荷時にリセットする方法については、製品のユーザーマニュアルを参照してください。

標準的なHTTPS接続を介してパスワードを設定するには、ダイアログに直接入力してください。

暗号化されたHTTPS接続を介してパスワードを設定するには、次の手順に従ってください。

1. **Create self-signed certificate (自己署名証明書の作成)** をクリックします。
2. 必要な情報を入力し、**OK** をクリックします。証明書が作成され、パスワードを安全に設定することができます。証明書が作成され、製品とのすべてのトラフィックを暗号化することが可能になり、パスワードを安全に設定することができます。
3. パスワードを入力し、スペルミスがないことを確認するために再入力します。
4. **OK** をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。

The image shows three overlapping screenshots of Axis device configuration dialog boxes. The top-left dialog is titled "Create Certificate" and contains a button labeled "Create self-signed certificate...". The top-right dialog is titled "Create Self-Signed Certificate" and contains fields for "Common name:" (10.92.25.211) and "Validity:" (365 days [1..9644]), along with "OK" and "Cancel" buttons. The bottom dialog is titled "Configure Root Password using HTTPS" and contains fields for "User name:" (root) and "Password (max 64 characters):", along with a "Confirm password:" field and an "OK" button. All three dialogs include a warning message: "The password for the pre-configured administrator root must be changed before the product can be used. If the password for root is lost, the product must be reset to the factory default settings, by pressing the button located in the product's casing. Please see the user documentation for more information." and a note: "ONVIF will be disabled. To enable ONVIF go to Setup > System Options > Security > ONVIF".

IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス

その他の設定

その他の設定

製品モデルによっては、ウェブインターフェースを使用してAxis製品に初めてアクセスするとき、以下の設定のいくつかまたはすべてを実施する必要があります。これらの設定のほとんどは、製品を工場出荷時の設定へリセットする場合のみ変更が可能です。

キャプチャーモード

キャプチャーモードでは、Axis製品で利用できる最大解像度および最大フレームレートを決定できます。キャプチャーモードの最大解像度を増加させると最大フレームレートが減少します。逆も同様です。

キャプチャーモードの設定はカメラの画角にも影響します。画像センサーの有効サイズはキャプチャーモード間で異なるからです。キャプチャーモードの最大解像度を小さくすればするほど、画角は減少します。

初めて製品にアクセスするとき、キャプチャーモードは設定されます。ご希望のキャプチャーモードを選択して、**OK**をクリックします。

電源周波数の設定

Axis製品の設置場所で使用されている電源周波数 (50 Hzまたは60 Hz) を選択します。誤った周波数を選択した場合、蛍光灯の環境下で使用すると、画像がちらつく場合があります。

50 Hzを使用している場合、最大フレームレートは25fpsになります。

注意

電源周波数は地域によって異なります。日本国内では、50Hzが使用される地域と60Hzが使用される地域とに分かれています。必ず地域の当局に確認してください。

PTZモード

PTZモードは初めてAxis製品にアクセスしたときに設定され、製品を工場出荷時にリセットするときのみ変更が可能です。

Digital PTZ (デジタルPTZ) が初期設定モードであり、パン/チルトモーターを**使用しない**ときに使用します。

カメラにパン/チルトモーターが搭載されている場合、**Uploadable PTZ driver (アップロード可能なPTZドライバー)** を選択します。PTZドライバーのアップロード方法については、www.axis.comで入手可能なユーザーマニュアルを参照してください。

カメラモード

いくつかの360° /180° カメラでは、マルチビューモード (パノラマビュー) またはインテリジェントビデオアプリケーションのどちらかを使用するために構成する必要があります。

マルチビューモード - このオプションを使用すると、パノラマビュー (オーバービュー以外のビューモード) を利用できます。カメラアプリケーションをアップロードすることはできません。

インテリジェントビデオアプリケーション - このオプションを使用すると、カメラアプリケーションをアップロードできます。オーバービューのみ利用できます。

マルチビューモードを使用する場合、**camera orientation (カメラ方向)** を設定する必要があります。Axis製品の設置方法に応じて、**Ceiling (天井)**、**Wall (壁)** または **Desktop (デスクトップ)** を選択します。選択したカメラ方向によって、ビューモード設定が異なります。

初めて製品にアクセスするとき、カメラモードおよびカメラ方向は設定されます。カメラモードを変更するには、製品を工場出荷時の設定にリセットする必要があります。カメラ方向を変更するには、製品を復元すれば十分です。製品をリセットまたは復元するには、製品のウェブページの**Setup (設定) > System Options (システムオプション) > Maintenance (メンテナンス)** へ進みます。

IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス

ビデオストリームにアクセスする

ビデオストリームにアクセスする

ライブビューのページに設定ページへのリンクが表示され、Axis製品をカスタマイズすることができます。

必要に応じて、Yes (はい) をクリックしてAXIS Media Controlをインストールすると、Internet Explorerでビデオストリームを表示できます。これを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

注意

Windows 7/Windows VistaにAXIS Media Controlをインストールするには、管理者権限でInternet Explorerを実行する必要があります。Internet Explorerアイコンを右クリックし、**Run as administrator (管理者として実行)** を選択します。

インターネットからアクセスする

接続が完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) でAxisの製品にアクセスできるようになります。インターネットから製品にアクセスするには、お使いのネットワークルーターを設定し、製品への着信データトラフィックを有効にする必要があります。そのためにはNATトラバーサル機能を有効にし、ルーターが製品へのアクセスを可能にするように自動的に設定させます。これは以下から可能です。**Setup (設定) > System Options (システムオプション) > Network (ネットワーク) > TCP/IP Advanced (TCP/IPの詳細)**。

IPv4用NATトラバーサルの詳細については、製品のユーザーマニュアルを参照してください。AXIS Internet Dynamic DNS サービス (www.axiscam.net) も参照してください。

これに関する技術的説明およびその他のトピックについては、Axisのサポートウェブサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーマニュアルはwww.axis.comで入手できます。

www.axis.com/techsupにアクセスして、ネットワーク製品用ファームウェアのアップデート版がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、**Setup (設定) > About (バージョン情報)** へ進みます。

Axisラーニングセンター (www.axis.com/academy) には、役立つトレーニング、ウェビナー、チュートリアル、ガイドなどがあります。

